

えんだより 卒園記念号

◇発行◇令和7年3月15日
広島文教大学附属幼稚園 TEL (082) 814-4032
FAX (082) 814-7206
Eメール : fyouchien@h-bunkyo.ac.jp
ホームページ : h-bunkyo.ac.jp/kindergarten

～ 卒園児自画像 ～



ご卒園おめでとうございます

子どもたちは、毎日、チャレンジタイムで、モンテッソーリ教育の5領域（日常生活訓練、感覚、数、言語、文化）の中から、自分のやりたいことを選び、繰り返し取り組み、自分を育てていきます。指先が育ち、さまざまな感覚が洗練され、数について知り、読み書きができるようになり……わかることやできることが増えていきます。その育った力を基にして、毎年A組は今年ならではのテーマを決めて、取り組みます。今年度は、「つくる責任つかう責任」でした。

B組のころから、「ぼくたちは、SDGSの中の何を調べていくん？」と、楽しみにしていたA組さん。実際にトマト、きゅうり、なすの苗を植えて、収穫、収穫した後の片づけ。ひまわりの種を蒔いての観察。サツマイモの苗植え、収穫、大学生とのクッキング、そしてサツマイモの茎を使ってのリース作り。(株)山豊工場見学では、食品加工のためにたくさんの方がかわってくださっていることを知りました。食べ物は大切だね、残さないようにしないと。そして、光和商事株式会社の方からミミズコンポストを教えていただき、子どもたちは残った食べ物を食べて、栄養のある堆肥を作ってくれているミミズのお世話をしてきました。ある日、絵本を見て、地球上にたくさんのごみがあることを知りました。「自分たちができることは何だろう？」「どうしたら、いいかな？」の問いに、「絵本や図鑑で調べてみる」「人に聞く」と子どもたち。ごみを減らすために自分たちができることについて調べていくことになりました。調べるための本を揃えました。仲間と、本をめくり、写真や絵を見入り、文字を読み、知ったことを、解ったことを、言葉にし、絵を描き、文字にしていきました。一人一人がごみを減らすためにできることを考え、45個(A組の人数)のアイディアがでてきました。そして、一人一人ができることをBCD組さんの前で宣言しました。「みんな考えたよね。それをどうしたらいい？」と聞くと、「できることからやってみる」「友だちに教える」とA組さん。ただ思う、考えるだけでなく、行動に移していくって素晴らしいですね。

子どもたちが育っていく未来が、住みよく安心して暮らせる世界であることを願い、私たち大人も、現状を知って、できることから行動していくことの大切さを、A組との活動を通して、改めて感じました。

こんな素敵な子どもたちと一緒に歩めた日々感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



令和6年度 第54回卒園児名

すぎの木組	くすの木組	ならの木組	もみの木組	かしの木組
上田 紗菜 樫本 柊真 門脇 董 末田 莞爾 田辺 汐里 畑賀 清花 本田 成 前 智裕 村本 紘都	高橋 柚那 竹本 知世 中原 叶実 野上 寛太 藤本 迅 松島 和希 宮崎 大翔 山下 蒼羽 山本 偉吹	石東 英士 上原 陽生 江口 陽登 岡重 幹太 杉元 美心 茶村 明希 藤原 亘佑 村岡 柚咲 山本 咲也	荒新 勇人 角丸 一越 木原 沙来 小葉松瑛玲来 新宅 晃也 橋本 藍 萬代 莉生 村竹 柚香 山下 晃介	浅利 晃牙 住谷 陽菜 留田 優志 中元 千鶴 蓮田 修也 藤原 一敬 松浦 美帆 松尾 綾真 柳田 詩歩

卒園記念品

メタルインセット 2セット
ありがとうございました。



令和6年度末 退職者のお知らせ

令和7年3月31日付けで、末川先生が退職されます。
先生のこれまでのご尽力に感謝すると共に、
今後のご健康とご多幸を祈念いたします。